

県中農林ニュース

ふくしまから はじめよう。

「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

第12号（令和元年5月発行）

編集・発行 県中農林事務所



写真：三春滝桜

～目次～

○県中農林事務所長 新任挨拶

○幹部職員の紹介

○農林業関係の動き

- ・平成31年JA夢みなみ水田農業振興大会が開催されました！
- ・平成30年度県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会を開催しました！
- ・「春だ一番！どまんなか物産展」が開催されました！
- ・郡山市森林組合の通常総代会が開催されました！
- ・FGAP（ふくしま県GAP）認証書交付式を行いました！
- ・山火事注意！「忘れない 豊かな森と 火の怖さ」
- ・県中地方GAP推進協議会を開催しました！

・安積疏水二期国営造成土地改良施設整備事業完了式が行われました！

・豊かなむらづくり顕彰事業優秀団体表彰式が行われました！

・県中地方防霜対策本部が設置されました！

・株式会社JA和牛ファーム福島さくら共同牛舎竣工式！

・森林保全巡視員委嘱状交付式を行いました！

・平成31年度JA夢みなみ園芸振興大会が開催されました！

○頑張る農業者!!

新規就農者「渡辺農園」渡辺浩延氏（田村市）

○各部・各普及所の紹介 ～森林林業部～

県中農林事務所長 新任挨拶

4月に県中農林事務所長に着任しました渡部幸英^{わたなべこうえい}です。「令和元年度」第1号の発行にあたりご挨拶申し上げます。

県中地域は県の2割の土地面積と3割の人口を擁し、中部は阿武隈川流域に広がる安積平野、東部は阿武隈高地の山間部、西部は奥羽・那須山脈に連なる山間地と変化に富む地形と広がりを持っています。

農業では、それぞれの地域の気象や地理的条件の優位性を活かした多種多様な農作物が栽培されており、林業では、原発事故で停滞している森林の整備を推進しています。

また、ICTを活用して生産性や効率性を高める機械・施設整備の支援や農地利用集積に資するほ場整備事業など生産基盤の整備と森林整備、木材の安定供給に取り組んでいます。

さらに、新たな販路の開拓と販売棚の拡大に向けて、農産物の安全性はもとより、おいしさ、新鮮さを積極的にアピールすることで消費拡大を図るとともに、ブランド化や第三者認証GAPの取組などによる流通販売の取組を支援します。

職員一同、現場に出向き色々な話を聞くことが出発点であることを肝に銘じながら職務を遂行してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



県中農林事務所長

わたなべこうえい
渡部幸英

～幹部職員の紹介～

このたびの人事異動により、4月に着任しました次長兼総務部長の^{ごとうまさき}後藤雅樹と申します。県中農林事務所での勤務は今回が初めてになりますが、よろしく願いいたします。

県中管内には、魅力ある農産物づくりに日々努力されている生産者・生産団体の皆さんや、環境整備の充実に御尽力されている市町村・関係団体の皆さんなど、農林業に真摯に向き合っている方々が多くいらっしゃいます。

これらの方々の思いを実現させ、県中管内を始め県内の農林業を更に発展させるように精一杯取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



4月より、農業振興普及部長に着任しました^{ふるかわかつひろ}古川勝弘です。

県中地方は、福島県のだ真ん中で、農業を牽引してきましたが、最近の動向も、ものづくりを支える産地体制を再編するリノベーション、人口減少社会に対応していくため、革新技術の導入を図るイノベーション、環境と人にやさしく持続可能な地域づくりを目指すSDGs等、次代を見据えたテーマで溢れています。

皆様が描いたプランを実現させるために、職員共々、汗をかいてまいりますので、よろしく願いいたします。



このたび、4月の人事異動で森林林業部長に着任しました^{かとうかつゆき}加藤克行と申します。

県中地方での勤務は初めてであり、全く土地勘がないため、統計資料等を眺めたり、職員から情報をもらっても、実際は管内のどこの話なのかほとんど分からない状況にありますが、着任後、管内市町村を始め農林業に関わる関係機関・団体や生産者の方々を訪問させていただき、徐々に情報と現場を連動させているところです。

さて、タイトルに則り若干自己紹介をさせていただきますと、現在は新幹線で福島市から通勤しております。前任地は県南農林事務所、同じく新幹線通勤でしたが、郡山駅は本数が多く、非常に便利になったような気がします。ところで県南といえば、以前何か「ラーメンが好きで、白河ラーメン三昧」のような寄稿をした記憶がありますが、県中にもおいしいラーメンがいろいろある旨聞いております。

そこで前半の話に戻りますが、とにかく現場を知らないことには何も進まない、現場に出て、多くの人のお話を直接聞く「現場主義」を大事にし、併せて出た先でおいしいラーメンが食せれば、こんな幸せなことはないと思っています。

今後は、組織の基本目標である「食の絆で地域と共に発展する県中地域の農林業」の実現に向け、部内のみでなく横の連携も図り、さらには関係機関等との連携も深めながら県中地方の農林業の復興・再生とさらなる活性化を推進して参りますので、皆様の一層の御理解と御協力をお願いし、自己紹介とさせていただきます。

どうぞ、よろしく願いいたします。



農林業関係の動き

平成 31 年 JA 夢みなみ水田農業振興大会が開催されました！

【須賀川農業普及所】

2月13日（水）にJA 夢みなみ営農経済本店（白河市）にて、「平成 31 年 JA 夢みなみ水田農業振興大会」が開催されました。大会には、生産者他、関係機関・団体等、約 180 名が参加し、大会スローガンのもとに意思の統一を図りました。

また、大会の中で、第 2 回 JA 夢みなみ「うまい米コンテスト」の表彰が行われ、受賞者や優良組合員に賞状や記念品が贈呈されました。

その他、白河税務署より「農業者向け消費税の軽減税率制度について」、東北農政局福島拠点より「平成 31 年度の米をめぐる状況について」、JA 夢みなみより「平成 30 年度稲作経過並びに出荷実績について」の説明、NHK 解説委員室解説主幹合瀬宏毅氏より「社会情勢などを踏まえ、地域農業のあるべき姿」の講演がありました。



【振興大会の様子】

平成 30 年度県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会を開催しました！

【企画部】

2月15日（金）に須賀川市民交流センターtette（テッテ）において、「平成 30 年度県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会」を開催しました。

交流会では、一般社団法人都市農山漁村活性化機構の花垣先生をお招きして、「訪れた外国人が農村地域で楽しむ・困らないための一工夫」と題して講演をしていただき、海外の方にどんな体験を提供できるか、英語ができなくても、指さし表や表示板を使用するなどのアドバイスがありました。

また、石川町の一般社団法人ひとくらす代表の三森孝浩氏より「木造校舎を拠点とした新たな交流施設「ひとくらす」の取組」、須賀川市グリーン・ツーリズム推進協議会事務局の佐藤美佳氏より「須賀川グリーン・ツーリズム推進協議会の活動について」、逢瀬いなか体験交流協議会の中村喜代氏より、「海外からの受入れを行って」と題して、お三方それぞれの活動や取組について事例発表をしていただきました。

事務局からは、「農林漁業体験民宿等の確認申請」、「住宅宿泊事業法」、「農山漁村振興交付金事業関係」について情報提供を行いました。



【交流会の様子】

「春だ一番！どまんなか物産展」が開催されました！ 【企画部】

2月23日（土）～24日（日）に、福島県観光物産館（コラッセふくしま）において、県中地方振興局主催の「春だ一番！どまんなか物産展」が開催されました。イベントには、6次化ネットワーク会員から、MIYAKOJI sweets yui（みやこじスイーツゆい）、えんどうワイナリー、有限会社かぎやの3事業者が出展しました。

両日とも、たくさんのお客様に来場していただき、なかには準備した商品が完売するブースもありました。



【MIYAKOJI sweets yui】



【えんどうワイナリー】



【有限会社かぎや】

郡山市森林組合の通常総代会が開催されました！ 【森林林業部】

2月26日（火）、郡山ユラックス熱海において、郡山市森林組合第54回通常総代会が開催されました。

森林組合は、組合員（森林所有者）が森林経営を共同で行うために設ける組織です。

今回、総代会を開催した郡山市森林組合では、森林経営計画に基づく森林の整備に取り組んでいるほか、森林病虫害の防除や森林公園の管理なども行っています。

総代会では、計画的な森林整備の推進や郡山産木材の利用拡大などを含む平成31年度の事業計画が承認されました。



【通常総代会の様子】

FGAP（ふくしま県GAP）認証書交付式を行いました！

【農業振興普及部、田村農業普及所】

認証書交付式①

2月26日（火）、郡山市熱海町の上の山彩果園（阿部智輝さん）がFGAPに認証されました。これに伴い、3月4日（月）に阿部さんの御自宅においてFGAP認証書交付式が行われ、吉田前農業振興普及部長より阿部さんへ認証書が手渡されました。

阿部さんは、JA福島さくら郡山地区梨部会の若手生産者で、日本なし70aとりんご10aを経営しており、新技術の梨ジョイント栽培の導入やJA梨部会で取り組んでいるアジア各国への日本なしの輸出者の一人となっています。

FGAPの取組をきっかけに、郡山市産日本なしの安全安心が地域内外へPRされるとともに、今後の阿部さんのさらなる活躍が期待されます。

農業振興普及部としては、関係機関と連携した安全安心な美味しい日本なしづくりを支援するとともに、今後もGAP認証取得を推進していきます。
（農業振興普及部）



【FGAP認証書が阿部さんに手渡されました！】

認証書交付式②

3月1日（金）、田村管内で3件目となる「FGAP（ふくしま県GAP）」に認証された、三春町の橋本好恵さんへの認証書交付式が、田村農業普及所で行われました。

橋本さんは、87aのブルーベリー園を経営しており、東京オリンピックへの食材調達基準ともなるFGAPを取得し、「オリ・パラ」へのブルーベリー供給を目指しています。

就農前は、東京でシステムエンジニアとして活躍しており、今回のFGAP取得に向け、スマートフォンでも簡単に利用できる無料アプリを効果的に活用し、申請に必要な資料等作成に役立てました。

交付式では、橋本さんより「今後も、良い農作物を作るため、栽培管理等にFGAPを有効に活かしていきたい」、とさらなる活躍に向けて、抱負を語られました。（田村農業普及所）



【FGAPを取得した橋本氏】

山火事注意！「忘れない 豊かな森と 火の怖さ」 【森林林業部】

3月4日（月）、平成31年福島県山火事防止県中地区連絡協議会が県郡山合同庁舎で開催されました。協議会には、県中地方の広域消防組合、市町村、森林管理署、森林組合、地方振興局、農林事務所の各担当者24名が出席し、山火事予防運動の実施方針及び普及啓発、山火事発生時の通報体制について協議が行われました。協議会では3月4日から5月6日までを山火事防止強調期間に指定し、「忘れない 豊かな森と 火の怖さ」を統一標語に、関係機関が連携し広報活動やチラシの配布、広報車での巡回宣伝などを行うこととしました。

このような中、4月9日（火）から4月10日（水）には、郡山市において山林など約100haを焼失する大規模な山火事が発生しました。

山火事は、今回のように大規模化すると地域の住民生活や社会的に大きな影響を及ぼす可能性があります。枯れ草等のある火災が起こりやすい場所でのたき火、火入れ、たばこの投げ捨て、火遊び等は絶対に行わないようお願いします。



【山火事注意ポスター】

県中地方GAP推進協議会を開催しました！ 【農業振興普及部】

3月5日（火）に、県郡山合同庁舎において県中地方GAP推進協議会を開催しました。会議には、県中地方の市町村、JA、市場等が参集して、今年度のGAP推進の取組状況や第三者認証GAPの取得状況などの報告がありました。

県中農林事務所管内の第三者認証GAP認証取得農場数は、平成30年度に8件が新たに認証されて、合計で13件となりました。各市町村から、次年度に向けて市町村独自に事業などを行い、更に取得拡大を図るなどの話題が出されました。県環境保全農業課の遠藤GAP推進員からは、県内のGAP推進状況やGAP取得事例、第三者認証GAP取得に向けての注意事項などの話題提供がありました。

今年度も関係者一丸となって、第三者認証GAPの取得推進を図っていきます。

○県中農林事務所管内 認証GAP取得状況 (平成31年3月末現在)

年度	項目	GAPの種類		計
		JGAP	FGAP	
平成29年		5	0	5
平成30年		3	5	8
	合計	8	5	13

安積疏水二期国営造成土地改良施設整備事業完了式が行われました！

【農村整備部】

平成 23 年度から実施されていた国営事業の安積疏水二期地区の工事が完了し、3月5日（火）に安積疏水土地改良区をはじめ関係者の出席のもと、東北農政局による「安積疏水二期国営造成土地改良施設整備事業完了式」が行われました。

本事業は、国営事業で造成された安積疏水の基幹的な農業水利施設のうち、老朽化した施設の機能を回復するため改修工事が行われたものです。

事業期間：平成 23 年度～平成 30 年度

総事業費：28.3 億円

主要工事：深田調整池、上戸頭首工、熱海頭首工、幹線用水路 4.4 k m、水管理施設



【完了式の様子】

豊かなむらづくり顕彰事業優秀団体表彰式が行われました！

【田村農業普及所、須賀川農業委普及所、企画部】

3月22日（金）に、杉妻会館（福島市）において、平成30年度豊かなむらづくり顕彰事業優秀団体表彰式が行われました。

管内からは、農事組合法人グリーンファーム九生滝（平田村）がむらづくり部門、福島さくら農業協同組合ピーマン専門部会（三春町）が農業生産部門でそれぞれ受賞しました。



【農事組合法人グリーンファーム九生滝】



【福島さくら農業協同組合たむら地区ピーマン専門部会】

農事組合法人グリーンファーム九生滝

九生滝地区は中山間の準高冷地のため、生産性が低く、若年層の他産業への流出や農業従事者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地が拡大し、将来の九生滝地区の存続が危ぶまれる状況にありましたが、地区での話し合いを行い、基盤整備事業への取組、集落の住民が参加する「農事組合法人グリーンファーム九生滝」を設立し、集落営農体制を構築しました。また、地区におけるアスパラガス生産の先駆者として、関係団体との連携を行い、村の特産品としてアスパラガスの生産を確立するとともに、6次化の促進等取組も行っています。今後も持続可能なむらづくりに貢献することが期待されます。

福島さくら農業協同組合たむら地区ピーマン専門部会

田村地域ではかつて葉たばこや養蚕が盛んでしたが、農業情勢の変化により葉たばこや養蚕は大打撃を受け、これに代わる作物の導入が進められました。ピーマン栽培は、試験栽培を経て、昭和63年に本格的に栽培が始まりました。ピーマンは葉たばこ以上に収益性が高かったことから、田村地域全体に栽培が拡大し、国指定の産地となり、現在では、県内一の生産が形成されています。

また、部会員全員がエコファーマーの認定を受けており、生産力向上に積極的に取り組んでいます。東日本大震災後は葉たばこの転換作物としてさらに推進され、単収、出荷量の増加、商工会等での6次化商品開発にもつながるなど今後も地域農業の振興に大きく寄与することが期待されます。

県中地方防霜対策本部が設置されました！

【農業振興普及部】

3月25日（月）に、県中農林事務所において「県中地方防霜対策本部」が設置されました。

本部の設置にあたって、対策本部長である桃井前県中農林事務所長より防霜対策期間における対策の徹底をお願いするとのあいさつの後、対策本部の看板が設置されました。

県中地方では、3月25日（月）から5月31日（金）までを防霜対策期間として、凍霜害に対する農作物管理について農業者への注意を呼びかけるとともに、関係機関と連絡を密にして凍霜害への備えを徹底しています。



【県中地方防霜対策本部の看板が設置されました】

株式会社 JA 和牛ファーム福島さくら共同牛舎竣工式！

【田村農業普及所】

株式会社 JA 和牛ファーム福島さくら（田村市常葉町）は、JA 福島さくらの子会社として、平成 30 年 3 月に発足し、平成 31 年 3 月 28 日に竣工式を迎えました。主な事業として、①福島県内初の取り組みとなる、地域の繁殖雌牛や子牛を預かり、飼養管理や育成を行うキャトル事業（子牛 50 頭、繁殖雌牛 30 頭）、②自社で出産～育成し、出荷するブリーディング事業（100 頭）に取り組んでいきます。

ICT を利用した最新システムなどを導入しており、飼養管理の効率化を目指しています。また、新規就農者や担い手・後継者の研修機関として、地域の畜産振興に寄与していきます。



【(株) JA 和牛ファーム福島さくら共同牛舎】



【竣工式の様子】

森林保全巡視員委嘱状交付式を行いました！

【森林林業部】

県中農林事務所管内には、95,400ha の豊富な民有林があります。

森林保全巡視員は、森林パトロール活動を通じて、これら民有林の適正な保全管理や保護管理を推進する目的で設けられています。

県中農林事務所では、4月1日（月）に「平成 31 年度森林保全巡視員委嘱状交付式」を行い、今年度県中農林事務所管内の民有林において森林パトロール活動を行っていただく 5 名の森林保全巡視員の方に委嘱状の交付を行いました。

引き続き当事務所では、委嘱いたしました森林保全巡視員の方々と共に、民有林の適正な保全管理や保護管理を行ってまいります。



【委嘱交付式会場の様子】

平成 31 年度 JA 夢みなみ園芸振興大会が開催されました！

【須賀川農業普及所】

4月9日（火）に JA 夢みなみ営農経済本店（白河市）にて、平成 31 年度 JA 夢みなみ園芸振興大会が開催され、生産者他、関係機関・団体等、約 250 名が参加しました。大会のスローガンとして『「量は力なり」「品質は信頼なり」スケールメリットを発揮し選ばれる産地になろう。』、『第三者認証 JGAP による「安心・安全な農作物づくり」に取り組もう。』をかかげ、生産者及び関係機関の意思統一を図りました。

また、大会の中で、当該地区の園芸振興に貢献し、園芸品目のブランド形成と園芸農家の生産技術向上に寄与された 3 名の生産者に福島県知事賞の表彰が行われ、管内ではすかがわ岩瀬地区の渡辺吉男氏、あぶくま石川地区の根本常和氏の 2 名が受賞しました。

その他、県、JA、生産者一丸となった園芸の振興に向けて、JA 夢みなみとして園芸品目の販売額 65 億円という目標が示されました。



【園芸振興大会表彰式の様子】

頑張る農業者！！

～新規就農者 「渡辺農園」 渡辺浩延氏（田村市船引町）～



渡辺さんは、お客様に喜んでもらえる野菜をつくりたいとの思いから、田村市内の農業法人で研修後、昨年からは農業を始めました。田村地域では珍しい品目のコマツナを主体とした施設での周年栽培（11a）で、栽培管理技術の向上や農業経営の発展に向け、日々奮闘しています。

また、生産だけでなく、販路の拡大にも取り組んでいます。さらに、地域の青年農業者組織の活動にも積極的に参加し、地元の若手農家と連携したマルシェの開催などにも取り組んでいます。

周年雇用や遊休農地の活用で規模拡大を図り、田村市内の雇用創出や新たな園芸品目の産地形成に挑戦していきます。



【渡辺浩延氏】

各部・各普及所の紹介(森林林業部)



森林林業部には林業課と森林土木課の2つの課があり、21名の体制で各種業務を行っていますが、それぞれの課が担当する具体的な業務内容についてご紹介します。

林業課

森林の多面的機能（水源涵養^{かん}、地球温暖化や土砂災害の防止など）の発揮や、山村振興のため、造林・下刈・間伐等の森林整備に関する補助を行うほか、間伐材の搬出や木材利用の促進などの各種支援を行っています。また、安全なキノコ等を供給するため、モニタリング検査を実施しています。



【ふくしま森林再生事業により整備された森林】

森林土木課

木材生産の採算性向上や効率的な森林整備のため、林道等の路網整備を行っています。また、近年多発する集中豪雨によって山地災害の発生リスクが高まっていることから、治山事業によって荒廃している保安林の整備・復旧を行うことで、山地災害の未然防止に努めています。



【林道を利用した木材搬出】



お問い合わせはこちら！

福島県農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540 郡山市麓山一丁目1番1号

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314